

『古典A』（古A306）についてのシラバス案

| | | | |
|----|-----|----------|-----|
| 科目 | 古典A | 単位数 | 2単位 |
| | | 学科・学年・学級 | |

1 学習の到達目標など

| | |
|-------------|--|
| 学習の到達目標 | 古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。 |
| 使用教科書・副教材など | 『古典A』（三省堂） |

2 評価の観点の趣旨

| 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 |
|--|---|-------------------------------------|
| 古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。 | まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。 |

3 学習計画及び評価方法など

| 第 1 学 期 | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|---|---|--|----------|-------|------------------------------------|---|---|----------|----------|
| 月 | 教材 | 配当時間 | 学習指導要領の指導事項 | 学習指導要領の言語活動例 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 | 考查範囲 |
| 4 | イントロダクション 蜂飼いの大臣（古事談） | 1 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 古文に描かれたものの見方や感じ方について関心を持つ。 | ① 説話が述べようとしている主題について考えようとしている。 | 発言の確認 | 第1学期中間考査 |
| | | | | | | | | ② 古文の文章を歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。 | ② 歴史的仮名遣いなどに注意しながら、本文をおおむね音読できる。 | 行動の観察 | |
| | | | | | | | | ③ 描かれているできごとの経緯をおおむね理解する。 | ③ 鳥羽殿のできごとを、順を追っておおむね記述できる。 | 記述の点検 | |
| イントロダクション 恵心僧都の母（発心集） | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 古文に描かれた人々のものの見方や考え方に関心を持つ。 | ① 「ありがたかりける母の心なり。」の一文の意義を考えようとしている。 | 発言の確認 | 第1学期中間考査 | |
| | | | | | | | ② 古文の文章を歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。 | ② 歴史的仮名遣いなどに注意しながら、本文をおおむね音読できる。 | 行動の観察 | | |
| | | | | | | | ③ 古文に描かれた人物の心情や考えを理解する。 | ③ 僧都の心情の変化と母の言動の意外さをおおむね把握できる。 | 記述の点検 | | |
| イントロダクション 塞翁が馬 | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 故事成語に興味を持ち、実際に使ってみたり、調べたりする。 | ① 「塞翁が馬」を用いて例文を作ったり、他の故事成語について調べ、使用したりすることができる。 | 行動の確認 | 第1学期中間考査 | |
| | | | | | | | ② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 | ② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 | 行動の確認 | | |
| | | | | | | | ③ 描かれている話の展開をおおむね理解する。 | ③ 塞翁の周りで起きた出来事を時間の経過と共に整理することができる。 | 発言の確認 | | |
| 5 | イントロダクション 朝三暮四 | 2 | イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 故事成語に興味を持ち、実際に使ってみたり、調べたりする。 | ① 「朝三暮四」を用いて例文を作ったり、他の故事成語について調べ、使用したりすることができる。 | 行動の確認 | 第1学期中間考査 |
| | | | | | | | | ② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 | ② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 | 行動の確認 | |
| | | | | | | | | ③ 場面に応じた登場人物の心情を理解する。 | ③ 狙と狙公の心情の変化を読みとることができる。 | 発言の確認 | |
| イントロダクション 杞憂 | 2 | イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 故事成語に興味を持ち、実際に使ってみたり、調べたりする。 | ① 「杞憂」を用いて例文を作ったり、他の故事成語について考え、使用したりすることができる。 | 行動の確認 | 第1学期中間考査 | |
| | | | | | | | ② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 | ② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 | 行動の確認 | | |
| | | | | | | | ③ 文章を正確に読みとり、話の内容をイメージする。 | ③ 天地崩落を憂う人が心配する宇宙の様子をイメージすることができる。 | 発言の確認 | | |
| 百鬼夜行（宇治拾遺物語） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。 | ① 説話のおもしろさがどこにあるかについて、考えようとしている。 | 発言の確認 | 第1学期中間考査 | |
| | | | | | | | ② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 | ② 古文の文章を、登場人物の感情を押さえながら音読することができる。 | 行動の観察 | | |
| | | | | | | | ③ 説話に描かれた古代人の物見方や考え方を理解する。 | ③ 「あさまし」が示す内容を明らかにし、その感覚を理解することができる。 | 記述の点検 | | |
| 6 | 観音になった男（宇治拾遺物語） | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。 | ① 説話に描かれた古代人の生に対する見方について考えようとしている。 | 発言の確認 | 第1学期期末考査 |
| | | | | | | | | ② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 | ② 古文の文章を、話の展開や登場人物の心情を押さえながら音読することができる。 | 行動の観察 | |
| | | | | | | | | ③ 登場人物の心情を理解する。 | ③ 「男」の心情の変化、出家を決心するに至った経緯を説明できる。 | 記述の点検 | |
| 呪いを知らせた犬（宇治拾遺物語） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ① 説話に描かれた古代人の精神世界に関心を持つ。 | ① 清明をめぐる事件の推移の描かれ方に関心を持つ。 | 発言の確認 | 第1学期期末考査 | |
| | | | | | | | ② 古文の文章を、話の展開や登場人物の性格や言動を考慮して音読する。 | ② 古文の文章の音読によって、物語の展開や人物の躍動感を生き生きと伝えることができる。 | 行動の観察 | | |
| | | | | | | | ③ 話の展開を、筋を追って詳細に理解する。 | ③ 清明をめぐる事件の展開を、時系列にそって記述できる。 | 記述の点検 | | |
| | | | | | 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 | ④ 敬語の基礎について理解する。 | ④ 基本的な敬語の用法を正確に指摘できる。 | 記述の点検 | 第1学期期末考査 |

| | | | | | | | | |
|---|-----------------|---|---|---|---------------------------|--|--|----------------------------------|
| 7 | 絵仏師の執心 (宇治拾遺物語) | 4 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 | ① 説話に描かれた古代人の考え方や行動を批判的にとらえる。 ② 古文の文章を、話の展開や登場人物の性格、言動を考えて音読する。 ③ 説話に登場する人物の特質について理解し、説明する。 ④ 副助詞のはたらきについて理解する。 | ① 良秀の取った行動や発言について、自分の考えを持とうとしている。 ② 古文の文章の音読によって、物語の展開や人物の性格、言動を生き生きと伝えることができる。 ③ 良秀の人物としての特徴を、自分なりの表現によって記述できる。 ④ 副助詞の基本的な用法を正確に指摘できる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 記述の点検 |
| | 芥川龍之介「地獄変」 | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 | ① 古典作品と近・現代の作品とのつながりについて関心を持ち、その違いを明らかにしようとする。 ② 古文と現代文を比べて読み、その内容や表現の特徴や違いを捉える。 ③ 古典作品が近・現代の文学にも影響を与えていることを、作品を通して理解する。 | ① 「絵仏師の執心」の学習をもとに、「地獄変」を問題意識を持って読んでいる。 ② 「絵仏師の執心」と「地獄変」を比べて読み、その違いと特徴を説明できる。 ③ 「絵仏師の執心」のどのようなところを芥川が取り上げようとしたのか、「地獄変」をもとに説明できる。 | 発言の確認 発言の確認 行動の観察 記述の点検 |
| | 夢を買う (宇治拾遺物語) | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 | ① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。 ② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 話の展開を順を追って理解し、理解したことを説明する。 ④ 基本的な助動詞の意味や用法について理解する。 | ① 説話に描かれた古代人の夢に対する見方について考えようとしている。 ② 古文の文章を、場面や登場人物の心情を押さえながら音読することができる。 ③ 話の展開をおさえることによって、編者の意図をくみとることができる。 ④ 基本的な助動詞の意味を文法的に説明することができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 記述の点検 |
| | 袴垂と保昌 (宇治拾遺物語) | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 | ① 説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。 ② 古文の文章を、登場人物の性格や心情を考えて音読する。 ③ 話の展開にそって、登場人物の心情の変化を理解し、その理解した内容を表現する。 ④ 古文特有の文章表現を理解する。 | ① 袴垂や保昌の人物造形のあり方やその描かれ方のおもしろさに関心を抱こうとしている。 ② 古文の文章の音読によって、登場人物の性格や心情を生き生きと伝えることができる。 ③ 袴垂や保昌のやりとりを通して、その言動の裏にある心理を推し量ることができる。 ④ 省略された文の主語を補って、その動作主を指摘することができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 記述の点検 |
| | 後の千金 (宇治拾遺物語) | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 読む能力 知識・理解 | ① 古代日本文学のあり方に関心を持つ。 ② 話の展開のおもしろさを表現して音読する。 ③ 話の展開を順を追って理解し、説明する。 ④ 副詞の意味と用法を明らかにする。 | ① 日本文学に与えた中国古典の影響を理解しようとしている。 ② 話の展開のおもしろさが伝わるように工夫して音読することができる。 ③ たとえ話での対応関係を説明できる。 ④ 「さらに」の意味と用法を説明できる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 記述の点検 |

【課題・提出物など】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

| 月 | 教材 | 配当時間 | 学習指導要領の指導事項 | 学習指導要領の言語活動例 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 | 考查範囲 | | | |
|----|------------------------------|------|---|--|--|--|----------------------------------|--|--|--|---|
| 9 | 袴垂と保昌 (宇治拾遺物語) | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | ① 説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。 ② 古文の文章を、登場人物の性格や心情を考えて音読する。 ③ 話の展開にそって、登場人物の心情の変化を理解し、その理解した内容を表現する。 ④ 古文特有の文章表現を理解する。 | ① 袴垂や保昌の人物造形のあり方やその描かれ方のおもしろさに関心を抱こうとしている。 ② 古文の文章の音読によって、登場人物の性格や心情を生き生きと伝えることができる。 ③ 袴垂や保昌のやりとりを通して、その言動の裏にある心理を推し量ることができる。 ④ 省略された文の主語を補って、その動作主を指摘することができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 | 第2学期中間考查 | | | |
| | | | | | | | | | ① 古代日本文学のあり方に関心を持つ。 ② 話の展開のおもしろさを表現して音読する。 ③ 話の展開を順を追って理解し、説明する。 ④ 副詞の意味と用法を明らかにする。 | ① 日本文学に与えた中国古典の影響を理解しようとしている。 ② 話の展開のおもしろさが伝わるように工夫して音読することができる。 ③ たとえ話での対応関係を説明できる。 ④ 「さらに」の意味と用法を説明できる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 |
| | | | | | | | | | | | |
| 10 | 応門炎上 (宇治拾遺物語) | 5 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | ① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。 ② 古文の文章を内容を展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 説話の主題を理解する。 ④ 動詞の活用の基本について理解する。 | ① 古代人にとっての和歌の意義について考えようとしている。 ② 古文の文章を、話の主題や人物の心情を押さえながら音読することができる。 ③ 大隅の守が郡司の罪を許すことになった経緯を説明できる。 ④ 主要な動詞の活用の種類と活用形を指摘し、活用表を作ることができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 | | | | |
| | | | | | | | | ① 孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせる。 ② 孔子の考え・心情を理解しながら音読する。 ③ 孔子の人となりと政治観を理解する。 ④ 訓点を理解し、現代語訳する。 | ① 孔子の考えが現在に通じることを、具体例を挙げて説明することができる。 ② 孔子の考え・心情を把握して、すらすら読むことができる。 ③ 一章ごとにその場面と孔子の考えを読み解き、それらを通じて孔子の人となりと政治観を追究することができる。 ④ 語順を間違えず書き下し文に改め、用法に注意して現代語訳することができる。 | 発言の確認 行動の確認 発言の確認 記述の確認 | |
| | | | | | | | | | | | ① 老子の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 ② 老子の考えを理解しながら音読する。 ③ 老子の考えを示す場面や比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。 ④ 訓点を理解し、現代語訳する。 |
| 11 | 老子 (大道廃れて、仁義有り・天下水より柔弱なるは莫し) | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。 | ① 老子の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 ② 老子の考えを理解しながら音読する。 ③ 老子の考えを示す場面や比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。 ④ 訓点を理解し、現代語訳する。 | ① 老子の考えを理解し、その世界を具体的にイメージすることができる。 ② 老子の考えを理解しながらすらすら音読する。 ③ 老子の思想と、それを示す場面や比喩との関連を説明することができる。 ④ 語順を間違えず書き下し文に改め、用法に注意して現代語訳することができる。 | 発言の確認 行動の確認 発言の確認 記述の確認 | | | | |
| | | | | | | | | ① 老子の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 ② 老子の考えを理解しながら音読する。 ③ 老子の考えを示す比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。 ④ 訓点を理解し、現代語訳する。 | ① 老子の考えを理解し、具体的にイメージすることができる。 ② 老子の考えを理解しながらすらすら音読する。 ③ 老子の思想と、それを示す比喩との関連を説明することができる。 ④ 語順を間違えず書き下し文に改め、用法に注意して現代語訳することができる。 | 発言の確認 行動の確認 発言の確認 記述の確認 | |
| | | | | | | | | | | | ① 編者の採録の意図について関心を持つ。 ② 古文の文章を、登場人物の心情を考えて音読する。 ③ 話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現する。 ④ 古文の敬語の基礎を理解する。 |
| 12 | 絵師と大工 (今昔物語集) | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | ① 説話が描く世界のおもしろさを味わう。 ② 登場人物の心理を表現して音読する。 ③ 話の展開が持つ意味を理解し、説明する。 ④ 助動詞の意味と活用形を明らかにする。 | ① この話のどのような点がおもしろいかを感じ取るようとしている。 ② 登場人物の心理が伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 博雅の性格や行動の特徴をとらえ、琵琶を取り戻した理由をまとめられる。 ④ 断定の助動詞の意味と活用形を理解している。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 | | | | |
| | | | | | | | | ① 説話の持つ教訓の意味について考える。 ② 登場人物の心情を理解して音読する。 ③ 登場人物の心情の変化を順を追って理解し、説明する。 ④ 現代語との間にずれのある動詞の活用について理解する。 | ① 説話の中で果たしている教訓と物語の展開との関係を理解しようとしている。 ② 「男」の心情の変化が伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 話の展開にそって、「男」の心情の変化を書き記すことができる。 ④ 動詞を文法的に説明することができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 | |
| | | | | | | | | | | | ① 老子の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。 ② 老子の考えを理解しながら音読する。 ③ 老子の考えを示す場面や比喩を正確に読みとり、その思想を追究する。 ④ 訓点を理解し、現代語訳する。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|---|---|----------|--|--|----------------|
| 武士の祭り見物 (今昔物語集) | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 | ① 説話が示唆する当時の人々の物の見方や考え方について知る。 | ① 説話を通して当時の文化のあり方について考えようとしている。 | 発言の確認 |
| | | | | 読む能力 | ② 話のおかしみを表現して音読する。 ③ 話の展開を簡潔にまとめる。 | ② 登場人物の様子や心理、話の展開のおかしみが伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 観点にそって、話の展開の追って記述し、そのおもしろさがどこにあるのかを指摘することができる。 | 行動の観察 記述の点検 |
| | | | | 知識・理解 | ④ 文の接続についてまとめて理解する。 | ④ 接続助詞の意味を指摘し、現代語に直すことができる。 | 記述の点検 |
| | | | | | | | |
| 漢詩 (竹林館・峨眉山月歌・臨洞庭・登高) | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 | ① 描かれた情景・作者の心情をイメージしながら音読し、そのリズムの良さを味わう。 | ① 描かれた情景・作者の心情に合わせ、テンポよく音読することができる。 | 行動の確認 |
| | | | | 読む能力 | ② 描かれている情景を味わい、その情景から作者の心情を読みとる。 | ② 語句・詩句・詩句と詩句の繋がり・全体の構成を理解し、作者の心情がどこに表れているか説明することができる。 | 発言の確認 |
| | | | | 知識・理解 | ③ 作者の時代背景や漢詩の決まりを理解する。 | ③ 唐代の時期区分、漢詩の形式・押韻・対句などの決まりを理解して、現代語訳することができる。 | 記述の確認 |

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

| 第 3 学 期 | | | | | | | | | | |
|---------|------------------|------|--|--|---|---|----------------------------------|----------|--|--|
| 月 | 教材 | 配当時間 | 学習指導要領の指導事項 | 学習指導要領の言語活動例 | 単元の目標 | 具体的な評価規準 | 評価方法 | 考查範囲 | | |
| 1 | 笛吹き成方（十訓抄） | 2 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 ① 説話によって伝えようとしている編者の意図を考える。 読む能力 ② 話の展開を簡潔にまとめる。 知識・理解 ③ 古文の文の特性をとらえる。 | ① 登場人物に対する編者の見方について考えようとしている。 ② 二人の登場人物の計略の応酬を簡潔にまとめることができる。 ③ 省略された文の主語を補い、動作主を明らかにすることができる。 | 発言の確認 記述の点検 記述の点検 | 第3学期期末考查 | | |
| | 行成と実方（十訓抄） | 5 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 ① 説話の背景の歴史や人物について調べて発表する。 読む能力 ② 登場人物に関する編者の描き方をとらえる。 知識・理解 ③ 敬語の意義を理解する。 | ① 自分が興味を持ったことがらについて、意欲的に調べて発表しようとしている。 ② 二人の登場人物の性格や言動の特徴とその後の運命の対比をまとめ、その因果関係に対する編者の見解を述べることができる。 ③ 敬語の取捨選択の意味を明らかにすることができる。 | 発言の確認 行動の観察 記述の点検 記述の点検 | | | |
| 2 | 三国志（三たび往きて、乃ち見る） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探求して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。 | ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめた話し合ったりすること。 | 関心・意欲・態度 ① 三国志に興味を持ち、前後のストーリー展開を知ろうとする。 読む能力 ② 場面状況と登場人物の心情を理解しながら音読する。 ③ 場面状況を正確に読みとり、登場人物の心情・考えを理解する。 知識・理解 ④ 基本文法を理解し、史伝作品の特徴に気づく。 | ① 三国志について、インターネットや漫画や映画などを利用して調べることができる。 ② 登場人物の心情に合わせて、読み方を工夫して音読することができる。 ③ 劉備の置かれた立場と孔明との関係を整理し、二人の心情と考えを説明することができる。 ④ 正確に現代語訳をすることができ、作品中に会話文を豊富に盛り込むことで現実感を増していることに気づく。 | 行動の確認 行動の確認 発言の確認 記述の確認 | | | |
| | 義家と宗任（古今著聞集） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 ① 説話の主題について考える。 読む能力 ② 話の展開の要点を押さえる。 知識・理解 ③ 用言の活用形の用法についての基本をまとめる。 | ① 説話の記述から登場人物に対する編者の評価や採録の意図を考えようとしている。 ② 話の前半と後半について、それぞれのエピソードの中心となっているできごとの意味をとらえることができる。 ③ 連体形の用法の違いについて指摘することができる。 | 発言の確認 記述の点検 記述の点検 | | | |
| 3 | 女盗賊（古今著聞集） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 ① 編者の説話採録の意図について考える。 読む能力 ② 話の展開の要点を押さえる。 知識・理解 ③ 古典の文章表現の特徴をとらえる。 | ① 説話に描かれた事件に対する編者の感想を考えようとしている。 ② 事件が発覚した過程と盗賊の正体の意外性を読み取り、まとめることができる。 ③ 挿入句に注意して、現代語に直すことができる。 | 発言の確認 記述の点検 記述の点検 | | | |
| | 相撲の勝負（古今著聞集） | 3 | ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 | ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読、朗読、暗唱をすること。 | 関心・意欲・態度 ① 当時の人の物の見方や考え方を知る。 読む能力 ② 登場人物の性格や心情をとらえる。 知識・理解 ③ 敬語の用法の基本を理解する。 | ① 弘光の涙と出家の意味や鳥羽院の不快感の理由を考えようとしている。 ② 二人の力士の様子や態度の描写を抜き出すことができる。 ③ 補助動詞「候ふ」の意味とはたらきを説明することができる。 | 発言の確認 記述の点検 記述の点検 | | | |

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード ⑤ 授業ノート

【第3学期の評価方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

| | |
|-----------------------------------|--|
| <p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「古典A」は、古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てることが目的です。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辭などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かなめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。 |
| <p>授業を受けるにあたって守ってほしい事項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。 |